

愛媛県議会議員 (松山市・上浮穴郡区選出)

木村ほまれ



皆様の声を、カタチにしたい

いよいよ2016年が開幕しました。本年が皆様にとりまして健やかで充実した年となりますよう、まずもって心よりお祈り申し上げます。
さて、昨年の県議選では皆様の温かなご支援により3期目の当選を果たさせて頂きました。皆様の真心とご期待にお応えすべく、そして「日に新たなり」の初心を忘ることなく、本年も県民生活の向上と県政発展のため全力で走り抜いてまいります。
皆様におかれましては引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

愛媛県議会議員 木村 誉

プロフィール

●生年月日／1964年1月22日
●高 校／今治西高校
●大 学／香川大学経済学部
●家 族／妻・長男・長女
●当 選／3回(2007年4月～)
●選 挙 区／松山市・上浮穴郡区
●所 属／公明党(愛媛県本部幹事長)
●常任委員会／農林水産委員会 副委員長(2015年度)
文教警察委員会 副委員長(2014年度)
特別委員会／少子高齢化社会対策特別委員会
太平洋国土輪建設促進議員連盟
森林・林業・林産業活性化促進議員連盟
果樹農業振興議員連盟
愛媛拉致議連
太平洋国土輪建設促進議員連盟

木村ほまれ 2015年 主な活動記録



- 4月 12日／県議選(3期目当選)
5月 13日／県議会臨時会
25日／県水源造林協議会第53回通常総会
26日／県いたい祭り
28日／県行政書士定時総会
29日／県農協共済組合第1回通常総会
6月 3日・4日／文教警察委員会視察(西条・新居浜・松山)
7日／NPOえひめセラピードッグの会
10日／県獣医師会第3回通常総会
22日／県議会6月定期会(開会)
7月 6日・7日／常任委員会
9日／県議会スポーツ議連会・表彰式
10日／県議会6月定期会(閉会)
13日／山本博司参議院議員同行視察(今治・松山)
15日／松山市議会がん対策勉強会
19日／谷合正明参議院議員同行視察(西条・今治)
25日／石田祝稔衆議院議員同行視察(松山)
27日／県森林組合振興協議会研修会
30日／地域福祉政策セミナー(広島)
31日／今治西高校中学校出場激励会
8月 2日／雄都地区サルビアまつり
4日・5日／特別委員会
15日／県戦没者追悼式
29日／21世紀型スキル教育シンポジウム(今治)

- 9月 4日／第41回農山漁村ふるさとづくり推進大会
11日／県議会9月定期会(開会)
17日／県議会9月定期会(代表質問登壇)
24日／県議会林議員視察(松山)
28日／決算特別委員会正副委員長会
30日／常任委員会
10月 1日／常任委員会
9日／県議会9月定期会(閉会)
11日～17日／県議会外洋派遣調査(米国)
19日～21日／農林水産委員会視察(沖縄)
26日～28日／特別委員会
28日／国体入賞選手表彰式
30日／常任委員会
11月 2日／決算特別委員会
4日／〃
6日／〃
8日／県原子力総合防災訓練(松山西予)
15日／雄都地区防災訓練
18日／決算特別委員会
21日／えひめ・まつま産業まつり
26日／県議会6月定期会(開会)
29日／新玉地区防災訓練
12月 4日／県議会12月定期会(一般質問登壇)
5日／若者自立支援フォーラム(新居浜)
8日・9日／常任委員会
11日／県議会12月定期会(閉会)



県議会レポート
ほまれ
2016年 新春号

PICK UP 前進しました!

念願のドクターへリ導入にメド。
昨年の県議会12月定例会で、
2017年2月までの導入が決まりました。

私は2013年9月定例会の代表質問において、公明党をはじめ歴代多くの議員が取り上げてきたドクターへリについて、具体的な期待成果を挙げながら“今こそ決断の時”とし、その導入を強く求めました。その後、中村知事の2期目の公約にも掲げられ、このたび実現の運びとなりました。少子高齢化の進展とともに南海トラフ巨大地震が懸念される中、今回の決定は「救急医療の切札」として県民の皆様から大きな期待が寄せられています。引き続き、しっかりと、県民の命を守る県政の実現に取り組んでまいります。



PICK UP 実現しました!

昨年度から県立学校の生徒に対し、
ヘルメットの無償配布が決定。

“全国初”となる自転車通学生の命を守る
取り組みが始まりました。

2014年10月の文教警察委員会において私は「自転車の安全対策」を取り上げ、「自転車に乗る際は、小・中学生と同様に高校生もヘルメット着用を義務化すべき」と提言。その後、保護者・学校関係者のご尽力により実現することができました。県では「サイクリング・パラダイス」をめざし、この間「自転車条例」の制定や「しまなみサイクリング」の開催、「マルゴト自転車道」の整備促進、「サイクリングの日」の新設など取り組みを進めていますが、あくまで前提となるのは「安全」です。自転車に乗る人も歩行者も、車もバイクも“道路はみんなのもの(シェア・ザ・ロード)”という意識の共有を図りながら、今後とも「自転車の安全対策」に取り組んでまいります。



2015年の主な県民実績

姫原町	河川の伐木／カーブミラーの設置を行いました
本町	県道の路面舗装・改修／路面表示の改善を行いました
道後姫塚	県道の路面表示を改善しました
築山町	ガードパイプを設置しました
大手町	街路灯を改良しました
萱町	県道の路面表示を改善しました
清水町	県道の路面表示の改善／ガードパイプの設置を行いました
三番町	カーブミラーを設置しました
余戸中	県道の路面舗装・改修(2ヵ所)／路面表示の改善(2ヵ所)／交通標識の設置を行いました
西垣生町	県道の路面舗装・改修／陸橋の補修を行いました
竹原町	松山市道の路面舗装・改修を行いました
生石町	松山市道の路面を舗装・改修しました
南江戸	JR松山駅前の路面表示を改善しました
保免中	国道56号線の老朽化対策を行いました
小栗町	信号機の改良を行いました
和泉北町	松山市道の路面を舗装・改修しました
室町	信号機のサイクルを改良しました
古川町	県道の植栽を伐採しました
森松町	国道33号および県道の路面舗装・改修／路面表示の改善を行いました
東方町	河川管理道の路面を改修しました
北土居町	国道33号線(松山南警察署前)の路面表示を改善しました
井門町	県道の路面表示を改善しました
北吉田町	松山空港までの県道の路面表示を改善しました
久万高原町	国道33号線および県道の路面舗装・改修／面河川の水難事故対策を行いました
今治市	水門の改修／信号機の新設(2ヵ所)／県道の雑草除去／街路灯の新設と改良を行いました
松前町	長尾谷川の河床掘削を行いました
西予市	鳥坂トンネル内の安全対策を行いました
愛南町	僧都川の河床掘削／避難道路の整備を行いました

県政に関するご要望・ご相談など、
皆様の声をお気軽に寄せください。

★日々の活動は下記にて随時更新中。
ぜひご覧ください。

木村ほまれ

検索

■ホームページ <http://www.homasan.jp/> ■フェイスブック <https://www.facebook.com/homare.kimura>
■ブログ <http://homasan-ehime.blogspot.jp/>



昨年から事務所を
移転しました。
新玉地区の皆様、
宜しくお願いします。

愛媛県議会議員 木村ほまれ

県議会レポート ほまれ 2016年 新春号

発行者：愛媛県議会議員 木村 誉

発行日：2016年1月

事務所(自宅)：790-0003 松山市三番町7丁目6番地2

メール：homasan@gmail.com

みんなさまの声、 おつなぎしました！

本会議での主な質問内容

本会議での主な質問内容

(2015年9月定例会／代表質問)

(問)「伊方原発1号機を含む今後の廃炉の在り方をどう考えて
いるか」

(問)「伊方原発1号機を含む今後の廃炉の在り方をどう考えているのか。」

(答弁要旨)

▼県としては、将来的には脱原発を目指すべきであるものの、それぞれ出力、型式、運転履歴、保守状況等が異なる個別の原発の廃炉判断については、一義的には、まず事業者が行うべきものと考えている。▼伊方原発1号機については、来年9月末までに四国電力が最終判断したいとしているので、県としてどう対応するかは、伊方原発を取り巻く状況等を踏

(問)「伊方原発1号機を含む今後の廃炉の在り方をどう考えているのか。」

(答弁要旨)

▼県としては、将来的には脱原発を目指すべきであるものの、それぞれ出力、型式、運転履歴、保守状況等が異なる個別の原発の廃炉判断については、一義的には、まず事業者が行うべきものと考えている。▼伊方原発1号機については、来年9月末までに四国電力が最終判断したいとしているので、県としてどう対応するかは、伊方原発を取り巻く状況等を踏まえ、慎重に検討してまいりたい。

For more information about the study, please contact Dr. Michael J. Kuehne at (319) 335-1111 or via email at kuehne@uiowa.edu.

結婚支援イベントの開催や、中高生や大学生などを対象とした乳幼児との交流等のほか、若い世代が気軽に利用できる子育てスマートアプリの開発、さらには夫の育児時間が長いほど第2子以降の出生割合が高いとの調査結果も踏まえ、夫の育児等への積極的な協力を促す取り組みの強化など、本県ならではの対策をオール愛媛で進める所存である。

（問）これまでの移住・定住施策の取組みと実績はどうか。また、県版総合戦略においてどのように取り組むのか。
（答弁要旨）

▼これまで県や市町が関与した移住実績は、取組みを開始した平成19年度以来概ね増加傾向で推移しており、26年度末までの累

425人。移住先では、人口減少が深刻な南予地域が6割強となっており、政策面でも一定の効果を上げている。▼県版人口ビジョンの骨子では、2020年代に人口の社会減を解消することを目標に掲げており、今後、あらゆる世代をターゲットに、移住者の一層の増加を図るために、積極的かつ効果的な移住施策をより一層展開したい。

（問）「愛媛労働局、商工団体、経営者団体、労働団体等と連携し、県版政労会使議を設置してはどうつか。」

（答弁要旨）

▼国の政労使会議が着実な賃上げの促進など様々な課題に道筋を付けてきた意義は大きいと認識している。▼県としては、愛媛労働局や経済団体、労働団体等との連名により、6月に「えひめ働き方改革宣言」を発表したが、まずは、こうした連携もベースにしながら、実需の創出にこだわり抜いた各般の施策展開により企

なげるための基盤づくりに全力を傾注して参りたい。

(問) 「水問題について、県は広域調整を図る立場から今後どう取り組むのか。」

(答弁要旨)

▼今回の提案は、何よりも西条の水を守ることを優先に考え、西条、松山両市や水問題の同時解決に向けた方策を総合的なパッケージとしてまとめたものでござり、この提案で合意が得られるのであれば、広域調整を図る立場の県として、へき地力で支援したいと考えている。▼今後、「『』としては、関係する方々に直接説明するなど理解を深めていただきながら、両市



し
い
の水問題の解決のため、西条の水を守ることを基本に、県営黒瀬ダムの具体的な活用方策の検討が進むよう、積極的に取り組んでまいりたい。

（問）「ふるさと納税について、地方創生につながる事業を選択して寄附できるよう工夫すべき。広島県神石高原町の犬の殺処分ゼロに向けた取り組み等も検討してはどうか。」
(答弁要旨)

▼本県では寄附金の使途について、県が推進する4つの基本政策から選択ができるという形にしており、活用事業の実績についてはHP等により周知し、寄附者の思いに出来る限り応えるよう努めている。▼神石高原町の犬の殺処分ゼロに向けた取組みは、特定の団体を指定して寄附を募り、ふると納税を通じて市町村とNPOとの協働を支援する新たな取組みであるが、本県への導入については様々な観点から慎重に検討する必要があると考えている。

と市場開発を軸に
新産業の創出
す。

この10年微減状態。このままだ
Pの減少は免れません。下げる
たな顧客と市場を獲得する
域経済や産業が持つ強みを
産業を創出してまいります。

4 **自助・共助・公助の底上げで
「災害に強い愛媛」
をめざします。**

5

A portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and light blue tie. He is smiling and holding a white rectangular card with text on it. The background features a large blue and white checkered pattern.

(2015年12月定期会／一般質問)

(問)「エネルギー政策について、将来の我が国のエネルギーの在り方をどう考え、国にどのような

(問)「原子力防災対策について、米国原子力規制委員会の重層的な危機管理対策を、伊方原発周辺における避難訓練等に活用してはどうか。」

(答弁要旨)

▼訓練については、昭和55年度からほぼ毎年、緊急時モニタリング訓練を実施してきたほか、平成元年度以降は、警察、消防、海上保安部、自衛隊等にも順次参加いただきとともに、平成7年度からは住民参加による避難訓練を実施してきてい

に機能することが確認されるとともに、運営面でも、実践的かつ効果的な訓練になつたと考えてゐる。今後、参加者や評価員の意見や評価結果も踏まえて、成果や課題等を抽出し、オフサイトセンターの更なる機能強化に、国とともに取り組んで参りたい。

「心手帳」を作成して、認知症高齢者の医療・介護・生活等の情報を関係者が共用できるようにするなど、地域で認知症高齢者を支える体制整備を進めているところである。▼さらに、県立医療技術大学が西予市と連携して取り組んでいる、地域包括ケアシステム構築に向けた人材育成プログラムの開発を支援し、システム構築に関わる人材育成や資質向上を図るほか、市町における認知症支援体制づくりのコーディネーター役となる認知症地域支援推進員の配置を促進するなど、地域を支える有為な人材を数多く育成することで、多様な職種間のネットワークを強化し、認知症高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていく地域包括

とした研修会を開催して、職員の介護力の向上を図っているところ。▼また、人材不足に対しては、多くの事業所が待遇改善加算措置の適用を受けて、介護職員の賃金増につながるよう支援するとともに、地域医療介護総合確保基金を活用して、県福祉人材センターにおける人材マッチングやキャリアアップ研修の支援、新人職員に対する指導担当者制度の導入など、介護分野への参入・定着促進に取り組み、人材の確保に努めて参りたい。

東 本 優 沢 プ ラス 新 マ ジ ジ の 改 物 プ

人口構成の変化に即した 「支え合いの地域づくり」 をめざします。

- 1 人口減少を見据え
「持続可能な地域づくり」
をめざします。

今から25年後の2040年、本県人口は現在の約139万人から107万人に減少するといわれています。産業が人手や技術を失い自治体運営が行き詰まるといった地方消滅の懸念に対し、私は、愛媛固有の価値と1人1人の可能性に光を当てながら、将来にわたる安心を広げてまいります。
- 2 人口構成の変化に即した
「支え合いの地域づくり」
をめざします。

現役世代1人が高齢者1人を支え、世帯の約4割が1人暮らしという社会がまもなく到来します。かつて経験したことのない人口構成の変化に対し、過去標準に基づく諸制度の再構築が急がれます。人口減少、財政再建などの制約を克服し、地域と人が支え合える社会を構築してまいります。
- 3 新たな顧客と市場開発を軸に
「新業務・新産業の創出」
をめざします。

本県のGDPは約5兆円で、ここ10年微減状態。このままだと労働人口の減少に伴いGDPの減少は免れません。下げ止め、増大させるためには新たな顧客と市場を獲得する以外なく、私はそれぞれの地域経済や産業が持つ強みを生かしながら、次世代の業態・産業を創出してまいります。
- 4 自助・共助・公助の底上げで
「災害に強い愛媛」
をめざします。

東日本大震災の発生以来、災害に対する私たちの認識は一変させられました。安全というものに絶対ではなく、終わりもなく、不断の努力を重ねる以外ありません。南海トラフ巨大地震が想定される中、自助を高め、共助を広げ、公助を強化させながら被害の最小をめざす防災減災対策を推進します。
- 5



▼移転後初めてとなつた今回の訓練では、万の場合に実際に現地対策本部長として陣頭指揮を取ることとなつてゐる内閣府副大臣や、本県副知事、重点市町の副市长、副町長など、防災関係機関から約260名の要員が参考集し、首相官邸からの避難指示の伝達や、具体的な実施計画の立案決定、国・県・市町本部間の情報共有等について検証した。▼訓練では、T・V会議システム等の通信設備や、発電所の状況や周辺の放射線量をリアルタイムで把握するシステムなど、ハード面は適正

面の対策はどうか。また、地域包括ケアシステムの構築に具体的にどのように取り組んでいくのか。」
(答弁要旨)

A circular photograph showing a young woman in a pink top smiling as she pushes an elderly man in a blue sweater and white shirt in a wheelchair through a park. The background is filled with green trees.

進めていくところである。▼県としては、これらの計画等を策定後、速やかに市町に提示し、必要に応じて「災害廃棄物処理支援ネットワーク」も活用しながら、全市町が早期に計画を策定できるよう助言・支援を行い、本県の地域特性を踏まえた実効ある、「オール愛媛」の災害廃棄物処理体制が平時のうちに確立できるよう努めてまいりたい。